

平成 27 年 11 月 12 日

手洗いで感染予防！

～正しい手洗いでノロウイルス感染を予防しましょう！～

例年冬季はノロウイルスを原因とする食中毒等が多く発生しており、11月以降に発生数の増加が見られています。今年も新しいタイプのノロウイルスが流行するとの情報もあり、例年にも増して注意が必要です。

ノロウイルスに対して家庭でできる有効な感染予防策は手洗いです。

このことを踏まえ、消費者庁では、全国の消費者を対象に家庭での手洗いに関する意識・行動のアンケート調査を実施し、その結果を基に手洗いでの大切なポイントをまとめました。

正しい手洗いを徹底することで、御自身や御家族がノロウイルスに感染することを予防しましょう。

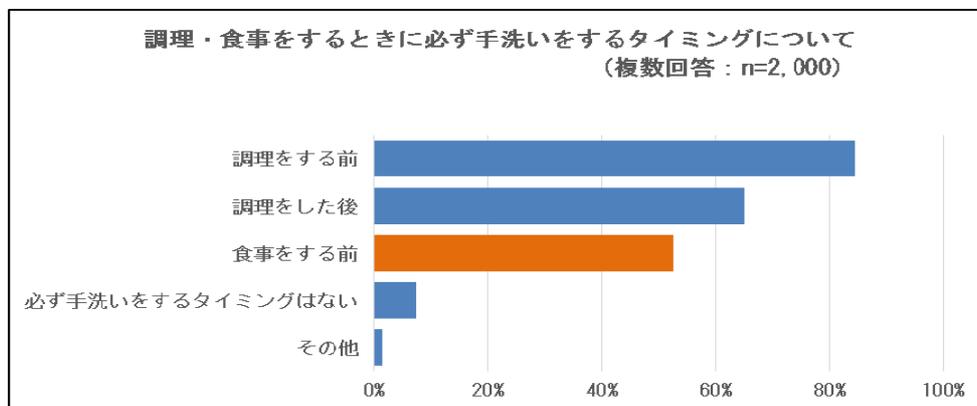
I 手洗いでの大切なポイント

1. 食事をする前には必ず手洗いをしましょう！

調査から、家庭での食事前に手を必ず洗う方が、52.6%にとどまるという結果が得られました。【Q11】

どんなに清潔に作られた食品でも、ノロウイルスなどの病原微生物が手に付いては、食品を食べるときに口から取り入れて感染してしまう可能性があります。

食事をする前に必ず手を洗うことで、手に付いている病原微生物を洗い流し、感染する可能性を減らしましょう。

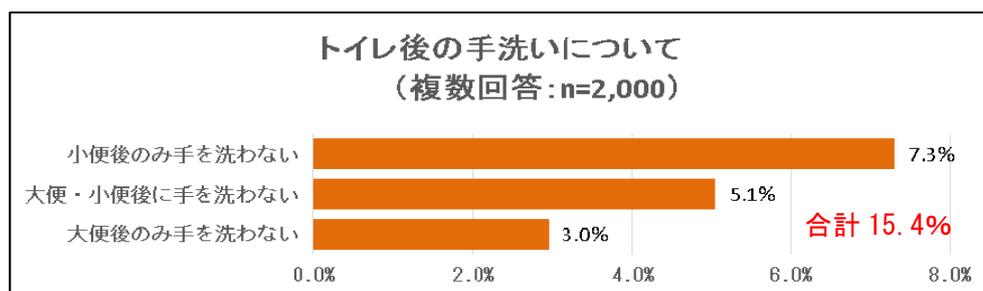


2. トイレの後には必ず手洗いをしましょう！

調査から、15.4%の方がトイレの後に手を洗わないことがあるという結果が得られました（「小便後又は大便後に手を洗うのどちらかを選択しなかった方」、「どちらも選択しなかった方」、「トイレで手を洗わないを選択した方」の合計）。【Q10】

特にこれからの季節に流行するノロウイルスは、感染者の糞便1グラムあたり数億個のウイルスが含まれており、10～100個の極微量のウイルスを摂取することで感染が成立するとされています。

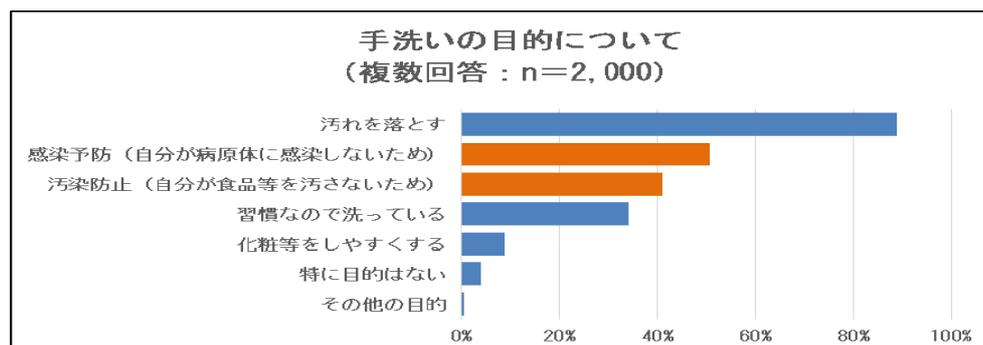
ノロウイルスは環境（ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など）からも検出されており、長期間感染性を維持するとされています。トイレの後に必ず手を洗うことで、手に付いたウイルスを洗い流し、環境をウイルスで汚染するのを防ぎましょう。



3. 感染予防・汚染防止のために手洗いをしましょう！

調査では、ほとんどのの方が手洗いをする目的として「手の汚れを落とす」と回答していますが（89.1%）、「感染予防」・「汚染防止」を目的としている方は50.9%、41.0%にとどまりました。【Q9】

見た目では汚れていなくても、手には目に見えない病原微生物（細菌・ウイルス等）が付着している可能性があり、これらが手を介して口から体内に入ると病気になることがあります。手を洗うときには、こうした病原微生物を洗い流すことを心掛けましょう。



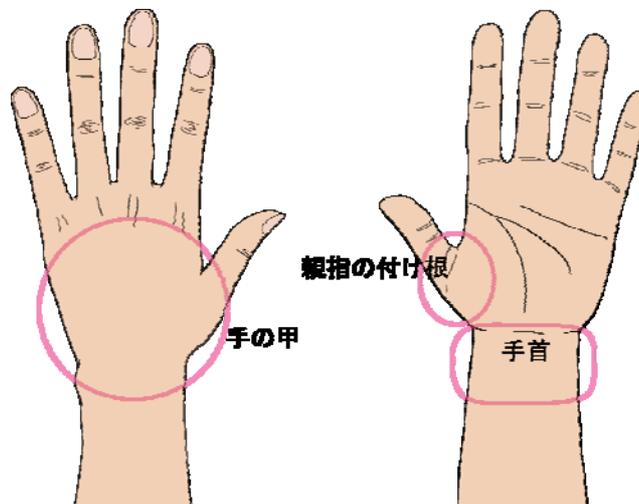
Ⅱ 正しい手洗いの方法を学びましょう！

キレイに洗えたと思っていても、意外と洗い忘れている箇所があり、正しく丁寧に手を洗うことが重要です。

調査においては、手洗いをするとき洗うことを意識をしている部分について、以下の図表のとおり、手首（22.4%）や親指の付け根（29.6%）、手の甲（39.0%）などが意識されていない結果が得られています。【Q16】

これらの部分も、汚れていなくても病原微生物が付着している可能性があります。手を洗う際にはこれらの部分にも気を付けて、しっかりと手を洗いましょう。

＜手洗いにおいて意識されていない部分＞



調査からは、手洗いの学習の重要性も明らかになりました。【Q17】「手洗いの方法を学んだことがあり、覚えている」と回答した方は、「学んだことはない」と回答した方よりも、手の甲、親指の付け根、手首等の様々な部分を意識して洗っている割合が高いという結果が得られています。この機会に正しい手洗いの方法を学びましょう。

手洗いのときに気をつけている部分	手の甲	親指の付け根	手首	この中で意識しているところは特にない
手洗いの方法についての学習経験				
学んだことがあるし、覚えている	53.4%	47.7%	41.0%	12.4%
学んだことはあるが、覚えていない	38.6%	25.7%	18.3%	20.6%
学んだことはない	30.9%	21.5%	14.1%	33.7%
全体	39.0%	29.6%	22.4%	24.4%

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- 爪は短く切っておきましょう
- 時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのぼすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

出典：政府広報オンライン (http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/)

参考：ノロウイルスに関するQ&A

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

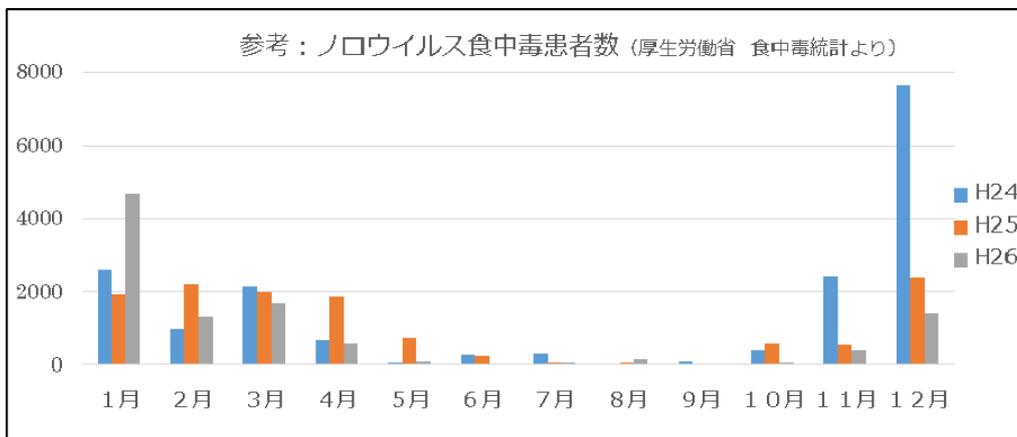
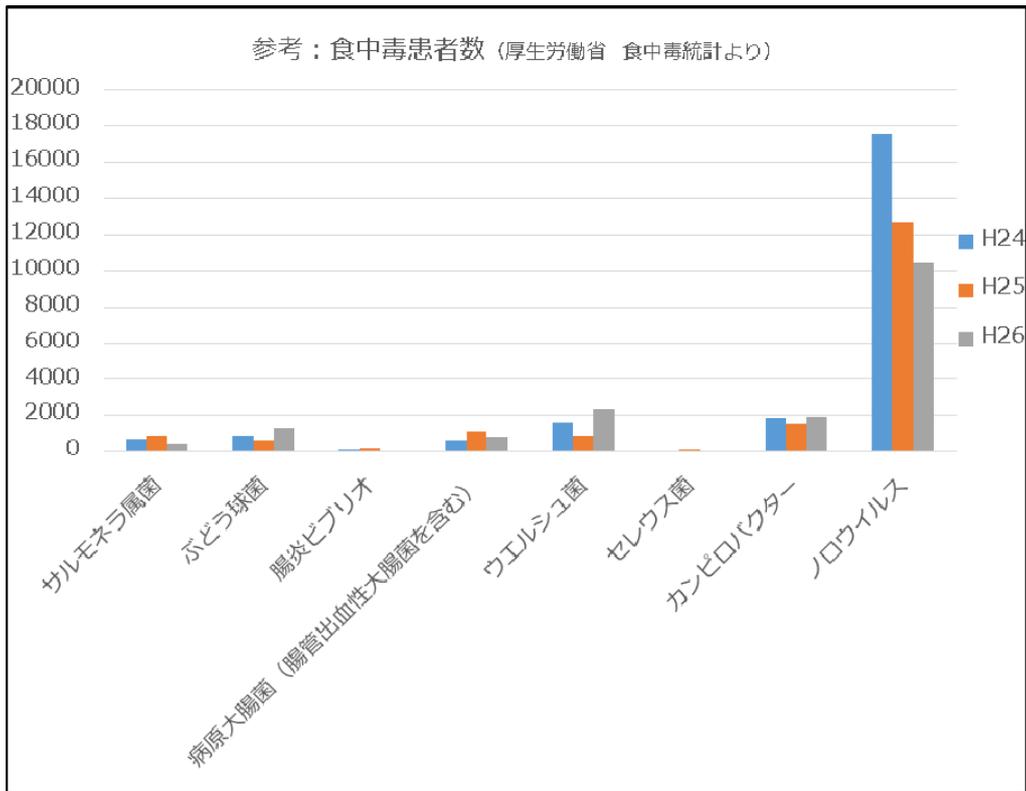
【本件に関する問合せ先】

消費者庁消費者安全課 金田、石川、石亀

TEL : 03(3507)9280 (直通)

FAX : 03(3507)9290

消費者庁ホームページ : <http://www.caa.go.jp/>



ノロウイルスによる食中毒は、厚生労働省の食中毒統計によると食中毒患者数の5割を超え、毎年1万人以上の患者が発生しています。

ノロウイルスは手や指、食品などから、口を介して感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子供やお年寄りなどでは重症化したり、吐いた物を誤って気道に詰まらせて死亡したりすることがあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。

また、消毒用エタノールによる手指消毒は、石けんと流水を用いた手洗いの代用にはなりません。このため、手洗いによる感染予防が、家庭でできる有効な対処法です。

消費者の手洗い等に関する実態調査

平成 27年 11 月 12 日
消費者庁消費者安全課

1. 調査概要

(1) 調査目的

例年冬季はノロウイルスを原因とする食中毒が多く発生しており、11月以降に事件数の増加が見られる。(厚生労働省食中毒統計より)

また、平成26年から平成27年にかけて、国内で流行しているノロウイルスの中で従来大部分を占めていた遺伝子型 G II.4 から G II.P17-G II.17 に遷移が見られたとの報告があり、今年は大流行の可能性が示唆されている。

ノロウイルスによる食中毒を消費者が予防するためには、食品の十分な加熱(85℃～90℃ 90 秒以上)を行うことのほか、消費者自身が正しい手洗いをするのが、最も重要である。

このため、消費者の手洗い等に関する意識・行動を調査し、不適切な点を明らかにすることで、今後の食中毒予防に関する注意喚起に役立てることとする。

(2) 調査期間・対象・調査方法・対象地域

- ① 実施期間:平成27年10月23日(金)～27日(水)
- ② 調査対象:家庭での手洗いを実施する16～65歳の男女、インターネットモニター(有効回答数2,000人)
- ③ 調査方法:インターネット調査
- ④ 対象地域:全国8ブロック(北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州(沖縄を含む。))

2. 回答者の属性(Q1～7)

① 性別(n=2,000)(Q1)

男性50.3% 女性49.7%

② 年齢(n=2,000)(Q2):16～65歳の男女

男性					女性				
16～25	26～35	36～45	46～55	56～65	16～25	26～35	36～45	46～55	56～65
8.0%	10.1%	11.4%	9.5%	11.2%	7.6%	9.9%	11.2%	9.5%	11.6%

③ 居住地(n=2,000)(Q3)

北海道	東北	関東甲信 越	東海北陸	近畿	中国	四国	九州 (沖縄県を含む)
4.3%	7.0%	38.6%	13.5%	16.9%	5.6%	3.0%	11.1%

④ 1日に何回程度手を洗いますか。当てはまるものをお答えください。(n=2,000)

(Q4)

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
4.0%	7.6%	14.7%	6.6%	18.8%	7.4%	4.0%
8回	9回	10回	11～15回	16～20回	21回以上	
4.0%	0.4%	15.4%	7.7%	3.7%	5.7%	

⑤ 婚姻状況(n=2,000)(Q5)

既婚	未婚	離別	死別
51.8%	40.8%	6.4%	1.0%

⑥ 同居家族の人数(n=2,000)(Q6)

0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
15.2%	17.7%	21.8%	22.8%	13.9%	5.5%	3.1%

⑦ 同居家族の属性(n=1,696) (回答はいくつでも) (Q7)

0～4歳の方がいる	10.9%
5～9歳の方がいる	9.9%
10～14歳の方がいる	10.9%
15～18歳の方がいる	11.5%
65歳以上の方がいる	28.9%
妊婦の方がいる	1.5%
上記以外の同居者がいる	57.8%

3. 意識調査の結果

Q8 1回の手洗いに掛ける時間はどの程度ですか。(回答は1つ) (n=2,000)

5秒未満	5～10秒未満	10～15秒 未満	15～20秒 未満	20～30秒 未満	30秒以上
8.3%	39.7%	26.3%	11.0%	7.5%	7.2%

Q9 手洗いの目的について、当てはまるものを全て選んでください。

(回答はいくつでも) (n=2,000)

汚れを落とす	89.1%
感染予防(自分が病原体に感染しないため)	50.9%
汚染防止(自分が食品等を汚さないため)	41.0%
化粧等をしやすくする	8.6%
習慣なので洗っている	34.3%
その他の目的	0.5%
特に目的はない	3.9%

Q10 トイレ後の手洗いについて、当てはまるものを全て選んでください。

(回答はいくつでも) (n=2,000)

小便後に手を洗う	87.7%
大便後に手を洗う	92.0%
トイレが汚れていた時に手を洗う	37.8%
その他	1.1%
手は洗わない	2.0%

Q11 調理・食事をするときには必ず手洗いをするタイミングについて、当てはまるものを全て選んでください。(回答はいくつでも) (n=2,000)

調理をする前	84.7%
調理をした後	65.2%
食事をする前	52.6%
その他	1.4%
必ず手洗いをするタイミングはない	7.5%

Q12 手が汚れる可能性がある行動をした後で必ず手洗いをするタイミングについて、当てはまるものを全て選んでください。(回答はいくつでも) (n=2,000)

動物に触った後	70.4%
土や泥に触った後	83.5%
生ごみに触った後	82.6%
ゴミ出しの後	68.5%
鼻をかんだり、咳・くしゃみをした後	33.9%
外出から帰ってきた後	73.1%
その他	1.1%
必ず手洗いをするタイミングはない	4.4%

Q13 自分以外の人のお世話をするとき必ず手洗いをするタイミングについて、当てはまるものを全て選んでください。(回答はいくつでも) (n=2,000)

子供の世話をする前	17.0%
子供の世話をした後	14.6%
病気の人のお世話をする前	26.2%
病気の人のお世話をした後	32.2%
オムツを替えたり、トイレの介助をした後	33.0%
嘔吐物を処理した後	41.9%
その他	0.2%
必ず手洗いするタイミングはない	5.7%
自分以外の人のお世話をすることはない	42.5%

Q14 手の洗い方で気を付けていることについて、当てはまるものを全て選んでください。(回答はいくつでも) (n=2,000)

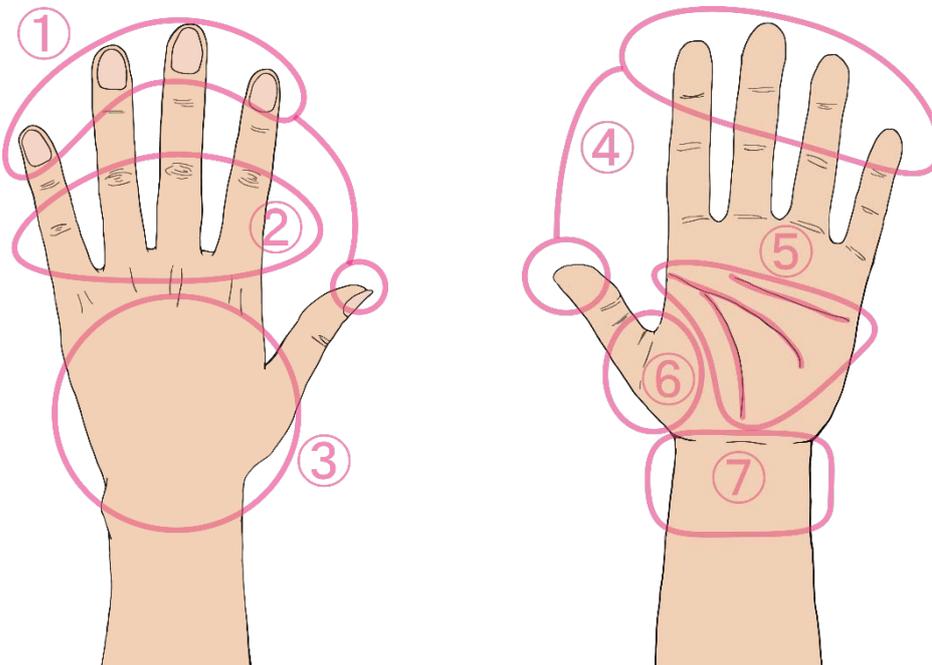
流水で手をよく濡らし、見て分かる汚れを落とす	52.2%
石鹸などの洗浄剤を使って洗う	64.0%
石鹸などの洗浄剤をよく泡立たせてから手を洗う	44.2%
流水で泡をよく洗い流す	52.3%
清潔なタオル等で手を拭く	44.0%
その他	0.5%
気を付けていることは特にない	12.0%

Q15 手を洗うときに気を付けていることについて、当てはまるものを全て選んでください。(回答はいくつでも) (n=2,000)

2度洗いをする	15.5%
装飾品(時計や指輪等)をはずす	24.2%
洗面台などの台所以外の場所で洗う	28.7%
その他	0.3%
気を付けていることは特にな	48.9%

Q16 手を洗うときに、以下のうち洗うことを意識している部分がありますか。図の番号から当てはまるものを全て選んで下さい。(回答はいくつでも) (n=2,000)

①爪と皮膚の間	46.1%
②指と指の間	54.7%
③手の甲	39.0%
④指先	47.2%
⑤手のひらのしわ	39.7%
⑥親指の付け根	29.6%
⑦手首	22.4%
この中で意識しているところは特にな	24.4%



Q17 手洗いの方法について、学んだことはありますか。(回答は1つ)(n=2,000)

学んだことがあるし、覚えている	26.2%
学んだことはあるが、覚えていない	28.6%
学んだことはない	45.2%

Q18 いつも適切に手を洗えていると思いますか。(回答は1つ)(n=2,000)

いつも洗えている	9.9%
大体洗えている	43.2%
時々洗えている	26.6%
あまり洗えていない	16.8%
全く洗えていない	3.5%